

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	一般社団法人 わかな ツリーハウス		
○保護者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士、教員免許、社会福祉士の資格を持った職員が勤務。 職員の人数も充実しており、安全性のみならず、より専門性の高い支援ができる体制で運営を行っている。	・職員が様々な研修に参加し、専門性を高めている。 ・施設内でも研修等を実施し、情報・知識の共有を行っている。	・男性職員が少ない為、男性職員の雇用を検討。
2	・職員と保護者の連携が多く取れている。	・活動終了後に様子等を保護者に公式LINEにて連絡。帰りの送迎時に活動の様子等も伝えている。個別での面談、電話相談も実施している。 ・SNSを通じて、情報の発信にも努めている。	・より相談しやすい環境を作る為に、保護者会等の実施を検討する。
3	・活動プログラムが固定化しないように工夫がされている。	・長期休暇での外出、外食体験のみならず、就労を踏まえた体験も行った。毎週水曜日の集団活動においても、固定化しないように、職員間での会議を行い、毎週異なる活動を実施している。	・日々の活動や遊びの中で、自立のみならず就労を見据えた活動を取り入れながら、療育を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会等の開催による保護者同士の交流機会を設ける支援。	・コロナウイルス、インフルエンザ等感染症の蔓延を踏まえ、自粛していた。 ・開催するにあたり、保護者会実施時間においての、子どもの見守り。	・感染症の蔓延していない時期を考慮しての開催。 ・土曜日もしくは平日午前中に開催することで参加を促す。
2	・建物の構造上、階段や玄関の段差等があり、車椅子が必要な利用者の受け入れができない。	・建物2階建てとなっており、階段がある。 ・玄関にも段差がある。広さ的にも車椅子での移動は難しい。	・階段、靴を脱ぐスペースには手すりが設置しているが、全介助が必要な利用者の受け入れは、現実的には難しい。
3	・放課後児童クラブ、児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がない。	・児童同士の交流はないものの、中高生ボランティアの受け入れを積極的に実施しており、地域の中高生と交流する場は設けている。今年度も5名以上のボランティアが来てくれた。	・きょうだい児等を含めた交流ができる機会を設ける。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ツリーハウス					公表日	2025年2月21日		
						利用児童数	23	回収数	20
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	4	0	0	・十分に確保されています。	・1階、2階とスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1	0	1		・国の基準を守り加算要件を満たす人員配置をしています。今後も、安全性・専門性を維持できるようにします。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	0	0	1		・ホワイトボードで活動内容を事前に提示しています。長期休暇等は活動前に全体で活動の確認をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	0	・清潔で活動に合わせた空間となっています。	・活動終了後、清掃及びドア等の取手の消毒し、感染症への対策も行っていきます。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	0	0	0	・専門性のある支援が受けられています。・個々に応じてパワーアップの時間など取り入れてもらっています。	・個々に応じた支援が実施できるように個別の専門的支援を実施しています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	0	0	0		・当事業者が公表している支援プログラムを踏まえて、支援内容を検討しています。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	0		・こども、保護者のニーズを把握した上で、発達に応じた個別支援計画を作成しています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1	0	0		・こどもの発達状況を踏まえた上で必要な項目を選択し支援内容に組み込んでいます。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0		・会議等で全体を通して確認し、支援に取り組んでいます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	0	0	1		・長期休暇、毎週水曜日の集団活動においても、固定化されないように話し合いを行いながら実施している。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	5	3	5	・子どもはわかりませんが、地域の方や中高生の職場体験等関わりがあることを聞いています。	・子ども同士の交流はないものの、積極的に中高生ボランティアの受け入れをしています。	
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1	0	0		・利用前の契約時に、丁寧な説明を心がけています。都度不明な点があれば、連絡を頂いています。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	0		・個別支援計画を提示しながら支援内容について説明しています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	2	0	4	・「家族に対して…」がわかりません。子どもが参加できる活動はあってありがたいなと思ってます。	・家族に対しての研修会等の情報発信ができるように努めます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	0	0	0		・活動等を伝える中で、共通理解を進めています。面談が必要な場合は、面談も実施しています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1	0	1	・モニタリングや困りがあった時、相談ののってもらえて助かっています。	・送迎時での面談による相談、個別での電話相談も受けています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	0	0	0		共感的に支援をする為にも、遊びや活動にも職員が参加し、支援を行っています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	8	6	0	6	・以前はあったようですが、その時の状況によるのかなと思ってます。またあったら参加したいです。	・感染症の影響もあり、開催していませんでしたが、今後開催を検討したいと思います。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1	0	1		・面談、電話のみならず、公式LINEでの相談受け入れも行っていきます。契約時に説明を行い、周知しています。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1	0	0		・ホワイトボードでの活動内容の提示しています。また、個別に絵カードも活用して情報伝達しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	0	0	0	・その日の様子がラインの写真などで送ってもらえるので、わかりやすくありがたいです。	・活動内容は、日々個別に連絡しています。自己評価の結果については、HPにて公開していることを伝えていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	0		・特定の場所のみの管理としています。また、鍵付保管庫で保管しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1	0	1		・非常災害、感染症を想定したBCPを作成し、それに基づいた避難訓練を定期的に行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	4	0	2	・非常災害、避難訓練はされているように思います。	・非常災害を想定したBCPを作成し、それに基づいた避難訓練を定期的に行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	0	0	1		・BCPは作成しており、それに基づいた訓練も実施しています。わかりやすく周知できるように努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	0	0	2	・そういった場を遭遇していないのでわかりません。 ・遊びの中でお友達にケガをさせた時丁事に対応してもらいました。危険な場所もあると知らせてもらっています。	・事故等がないように職員の配置を実施していますが、万が一あった場合には、迅速に連絡、説明を実施しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0	・嫌なこと（注意されたりトラブルがあったあと）の次の日も「やっばり行く」と行きたくっています。ありのまま姿がだせ、安心して通っているのだと思います。	・今後も安心感をもって通所して頂けるように支援、運営していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	0	0	0	・とてもうれしそうに行っています。 ・毎週とても楽しみにしています。	・今後も楽しんでもらえるように支援、運営していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	0	0	・とても満足しています。普段体験できないことを体験させてもらえたり、手作りのおやつを食べさせてもらっています。	・外出、外食体験も実施しています。今後も保護者、子どもに満足してもらえるような運営をしていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ツリーハウス		公表日		2025年2月21日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・職員を多めに配置しており、個別の活動も充実させている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・職員会議を定期的に設け、全員で意見を出している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・今年度も様々な研修を受講した。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・定期的に会議をもち、話し合いを行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・長期休暇や曜日に応じて、活動を変更している。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・個別での専門的支援を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・翌朝には行っていて、非常勤の職員にはメール等で伝えている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・下校時間の変更がある場合は、保護者と連絡を取り合っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		・現在、就学前児は利用していない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・情報提供は必要に応じて行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		・コロナ禍以前は保護者会を開催していましたので、今後再開するよう努めます。・時間や場所の確保が難しいが、そのような機会も必要だと感じる。・保護者の仕事都合で用意ができなかった。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		・個人情報に関しては、鍵付き保管庫に保管している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		・ホワイトボード、絵カード等を活用している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1		・事業所の近くに畑を借用して、花の栽培を行い、住民に喜ばれている。・清掃活動で奉仕している。・落ち葉プロジェクトを通して、地域の一員として活動している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0			